

これがあれば、あなた一人
でも探究学習ができる！

総合的な 探究の時間

高校生・先生のための

2020年度版

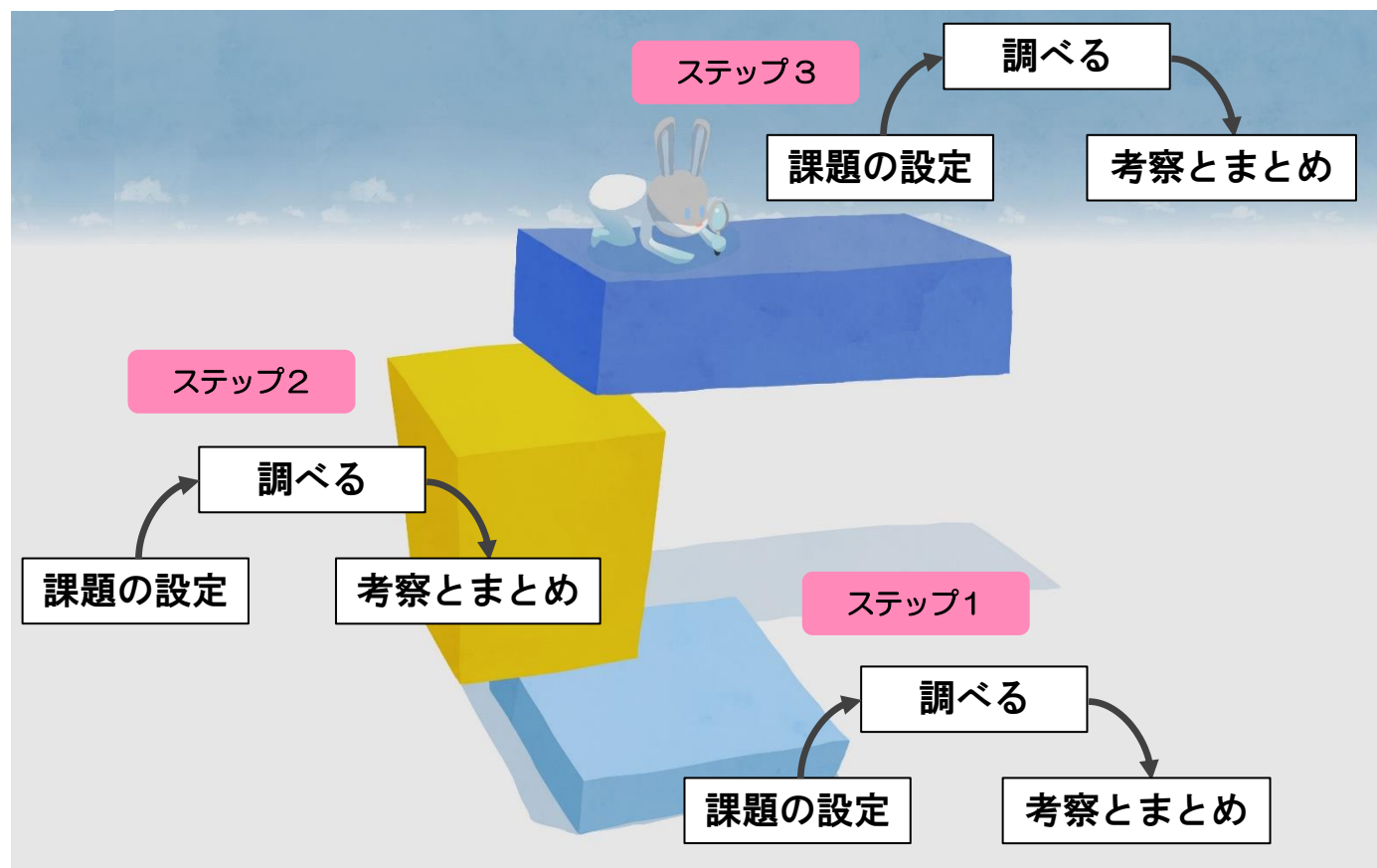
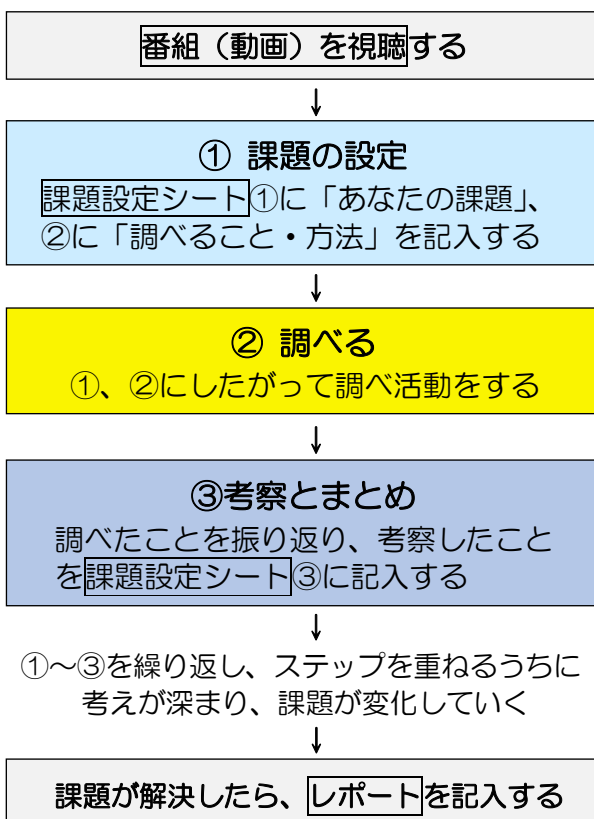
探究学習ガイドブック

■ 「総合的な探究の時間」は、何を、何のために学ぶ学習なのか？

- ・「総合的な探究の時間」は与えられたテーマから、生徒のみなさんが自分で「課題」を見つけて調べる学習です。
- ・「総合的な探究の時間」（総合的な学習の時間）には教科書がありません。だから、自分で調べるべき課題を設定し、自分の力で探究学習（調べ学習）を進めていく必要があります。「どうやって学習すればいいの？」と悩む人もいるかもしれませんが、でも大丈夫！そんなときは「総合的な探究の時間」の番組（動画）や番組サイトの教材を活用すれば、あなたも自分で探究学習ができます！
- ・探究学習の正解はひとつではありません。「自分で考える力・生きる力を身につけ」、「自分で問題を解決できるようになる」ことが目標です。そのための大事な一歩が、自分で見つけた課題を調べ続けることです。この方法は社会に出て問題に直面したときあなたを支えてくれるでしょう。


■ “探究的な” 調べ学習の進め方

●以下の手順で学習を進めましょう



■「課題設定シート」の書き方

ステップ



＜課題設定シート＞

（「あなたが人とつながること何が生まれるか？」番組視聴後に）

① 「あなたが人とつながること何が生まれるか？」と問われたら、あなたならどう答えますか？ ※ステップ2以降の人は新たに調べたい課題を書いてください

（例）通信高校生とSNSでつながったら、勉強の相談などができるかもしれない。
 （例）同じ趣味の人と会ってつながったら、趣味について語り合える友だちになれるかもしれない。

あなたの課題：
誰と どうやって

と つながったら、

かもしれない。

② ①の課題を調べる（探求する）ために、「何を」「どのような方法で」調べますか？

（例）何を：どうすれば通信高校生とつながれるか？ どのような方法で：先生に聞いてみる
 （例）何を：同じ趣味の人と会うための方法は何か？ どのような方法で：ネットで検索する

何を：
 どのような方法で：

③ ②を調べてみて気づいたこと、疑問、気になることを書いてください。[考察] それを解決するために、次に調べてみたいことは何ですか？ [新たな課題]

⇒新たな課題を調べる人は次のステップへ進む

●自分で探究（調べ）学習に取り組むときに役立つのが、この「課題設定シート」です。これがあれば、あなたも自分で探究学習に取り組むことができます！以下のように記入してください。※NHK 高校講座サイトからダウンロードできます

① 【課題の設定】 自分の課題を、どのように見つけるか？

①の空欄を埋めてあなたの課題を書いてみましょう。（テーマによって異なります）課題を設定するときは、**自分の好きなこと、興味のあることから**探してみましよう。それが探究学習を長続きさせるコツです。なにも**“立派な課題”を書く必要はありません。最初は思いつきや、漠然とした課題でOKです。**探究学習を進めるうちに、あなたの考えも整理でき深まって、**課題＝あなたが本当に知りたいこと・調べたいこと**が少しずつ明確になっていくはずですよ。

② 【調べる】 「調べること」と「調べる方法」はどうする？

「調べること」は、あなたの課題を調べるための手掛かりです。あなたの課題には「どのような種類があるか？」「どのような人が関わっているか？」「どのような場所が関わっているか？」を考えて書いてみましょう。

「調べる方法」は、インターネット（スマホ）で調べるのも良い方法ですが、それだけでは知ることのできない情報もたくさんあります。困った人はページ4～5ページの「選択肢カード」を参考にしてみてください。

③ 【考察とまとめ】 調べたことを振り返り、考察しまとめよう

「調べること」を十分に調べたら、そこまで調べたことを一度整理して振り返り、**考察（調べた情報を整理・分析・検討する）し、まとめて書いてみましょう。**すると、次に調べたい「新たな課題」が見えてくるはずですよ。

⇒探究の途中で行き詰ったら、「課題」「調べること・方法」は書き直してOK！
 ⇒③までできたらステップ2の課題設定シート①②を記入し探究学習を続けます

■②「調べる方法」選択肢カード（ステップ1）

- 「調べる方法」に迷った人は、以下のカードの中から自分にできそうなことを選んで調べてみましょう

自分でやってみる

ネットで調べてみる

まわりの大人に
聞いてみる

図書館に行ってみる

その他

■②「調べる方法」選択肢カード（ステップ2以降）

- ステップ2以降では選択肢を増やして、人に会ったり、現場に出向いたり、これまでやったことのない方法にチャレンジしてみましょう。

自分でやってみる	ネットで調べてみる
まわりの大人に聞いてみる	図書館に行ってみる
現場に問い合わせをしてみる	現場へ取材に行ってみる
関係者に会って話を聞いてみる	活動に参加してみる
	その他

■探究学習のポイント・お役立ちツール

- スマホを活用しよう！
 - ：スマートフォンはネット検索だけでなく、以下のようなツールとして役に立ちます
 - ▼取材中の写真撮影 ※相手に許可を取ってから行いましょう
 - ▼インタビュー時の録音（ボイスレコーダー） ※相手に許可を取ってから行いましょう
 - ▼メモ帳に取材中のメモや、電話をする前の質問事項などを書いておく
- ネット検索のポイント
 - ：例えば「社会参加 ボランティア 自然保護 国立市」など複数のワードで検索すると、より具体的な情報がヒットします。
- 電話をする前には？
 - ：質問したいことをまとめておく。（初めての人と電話で話すのは緊張もするし大変です）
- 電話取材のマナー
 - ：初めて電話をする相手には、まずきちんと挨拶と自己紹介をし、電話をした目的を相手に伝えてから本題に入りましょう。（相手にも都合があります）一方的に自分の話をせず、相手の話をきちんと聞く態度を身につけましょう
- 人とつながる大切さ
 - ：電話したり、実際に人に会ったりすると、ネットでは調べきれない貴重な情報を手に入れることができます。そのときに相手の連絡先を（無理のない範囲で）聞いておけば、調べていてさらに質問したいことが出てきたり、話を聞いてみたくなったりしたときに、再び尋ねることができます。
- 思わぬトラブルにあわないために…
 - ：現場の見学や活動に参加をする際は、事前に学校の先生や家族に伝えてから参加しましょう。

■調べる途中で失敗したり、行き詰った場合は？

- 失敗は無駄ではありません！なぜ失敗したのかを振り返り、これまでとは別の発想で、次の行動につなげることが大切です！
 - でも、どうしてもいいかわからなくなった時は、以下をヒントにしてみてください。
 - ▼困ったときは、身近な人（友だち、担任の先生、家族など）の力を借りよう
 - ▼一度、取材した人に、もう一度連絡して相談してみよう
 - ▼「失敗した原因は何か？」「どうすれば成功に導けるか？」をよく考えてみよう
 - ▼打つ手がなくなってしまったら、課題設定シートの「課題」「調べること」「調べる方法」を見直し、別のやり方を試してみよう
- ★必ずしもステップ3まで進めなくても大丈夫です。もちろん、調べたいことがまだまだあったらステップ4以降に進んでもOK。あなたが「調べたいと思うところまで」楽しんで探究学習に取り組んでみてください！



■教師・保護者の方へ（「総合的な探究の時間」の指導について）

2019年度から「総合的な学習の時間」に代わり、「総合的な探究の時間」が導入されました。

文部科学省は「総合的な学習の時間」と「総合的な探究の時間」のいちばんの違いは「生徒自らが課題を設定すること」だとしています。画一的な調べ学習ではなく、生徒が自分の力で課題を設定し、調べ、考察しまとめることで「問題解決の力」を育むことを目指します。

NHK 高校講座「総合的な探究の時間」は、高校生の主体的な探究学習、教師のみなさんの指導に役立つ教材を提供する教育番組です。

「学習の目的は何か?」「生徒だけで調べ学習はできるのか?」「教師は何をすればいいのか?」といったさまざまな疑問や懸念もあると思いますが、これを解決するひとつの方策を、NHK 高校講座「総合的な探究の時間」はご提案します。

「総合的な探究の時間」指導のポイント

●先生の役割は「教えること」ではなく、「生徒の主体的な学習により添うこと」です

番組では高校生が「総合的な探究の時間」に自分（グループ）だけで取り組む様子を紹介しています。番組を見本にして、番組サイトで提供する教材を活用すれば、先生がやるべきことは以下の2つです。番組に登場する高校の担任の先生方の指導も参考にしてみてください。

【①オリエンテーション】

- 「総合的な探究の時間」の番組を視聴させる。（授業で見せても、予習として動画視聴させても構いません）
- 番組視聴後、「課題設定シート」を書かせ、生徒それぞれの「課題」「調べること」「調べる方法」を見える化する。
- あとは、生徒たちが自分で・グループで（主体的に）探究学習（調べ学習）を進めます。
- 番組で担任の先生がやっているように、課題設定シートを書く前に先生と生徒でテーマについて対話し、生徒が「自分が興味のあることを課題に設定してみたい」という動機付けを行うと効果的です。
- 生徒の探究がスタートしたら、先生はできるだけ具体的な指示をしたり誘導したりせず、生徒の求めに応じてサポートするようにください。

※テーマ別の「課題設定シート」は番組サイトからダウンロードできます

【②レポート提出】

- 生徒の探究学習ができれば、進んだステップまでの課題設定シートをまとめたレポートを提出させてください。
- 評価の観点は「結果ではなく探究プロセス」です。どのような課題を設定し、それを探究する過程で何に気づき、どのように考えを深めたのかを評価することをお勧めします。それが「生徒にどのように問題解決の力がついたのか」を見極めることになります。

※テーマ別の「レポート用紙」は番組サイトからダウンロードできます／もちろん学校所定のレポート用紙でも構いません

●課題の設定はどうすればよいか？

最初に生徒が設定する課題は、思いつきや漠然としたものでもまったく構いません。

番組では… テーマ「コミュニケーション」⇒「あなたが人とつながることで何が生まれるか？」といった問いかけにしました。

この方が、生徒が課題を身近なこととして発想できるからです。

最初に（立派な発表ができるなど）学習のゴールを設定してしまうと、時間をかけて生徒が優れた課題を設定することを求めてしまいがちです。

探究学習においては、結果ではなく探究プロセスこそが最も重要。だから「よくできた課題」「立派な課題」である必要はないのです。

そして、ステップ1の探究を考察しまとめた後、ステップ2で改めて課題を設定します。こうして探究プロセスを（スパイラルに）繰り返すうちに、最初の課題が変化していくことに注目してください。これこそが生徒が大切なことに気づき、深い学びに肉薄している証です。探究学習は他教科とは異なり「正解のない学習」であり、生徒が自分の力で問題解決の力・生きる力を身につけていく学習です。

課題設定においても、生徒の主体性を尊重することを大切にしてください。

●6つのテーマ・12本の番組から、カリキュラムに合わせてご活用ください

2020年度は以下のラインナップで番組を放送する予定です。（2020年12月時点）

放送日	探究テーマ	タイトル	学習のポイント	
放送終了 動画配信中	コミュニケーション	1 あなたが人とつながることで何が生まれるか？ ①	あなたは今、誰とつながっているだろうか？社会に出ると初対面の人とのコミュニケーションも求められる。なぜコミュニケーションは必要なのか？そしてそのつながりは自分や相手に何をもたらすのか？メール・動画・SNSから手紙・電話・対面まで、さまざまな人との交流も体験しながらコミュニケーションの大切さについて探究する。	
		2 あなたが人とつながることで何が生まれるか？ ②		
	社会参加	3 あなたはどのように社会の役に立てるか？ ①		あなたは今、社会に支えられて生きている。では、高校生のあなたが社会のためにできることはあるのか？「社会参加」とは、社会の一員として社会の一翼を担うこと。仕事をすることも、結婚して家族をつくることも社会参加だ。まずは自分が好きなこと・興味のあることから出発し、自分と接点のある地域活動・ボランティアなどについて探究する。
		4 あなたはどのように社会の役に立てるか？ ②		
	福祉	5 あなたはみんなが幸せに生きるために何ができるか？ ①		あなたは今、幸福だろうか？福祉とは「人々の幸福、あるいは満足すべき生活環境」を指す。まずは自分が幸福か否かを見つめ、それが何によって支えられているかを調べ考える。その上で、子ども・高齢者・障害者・貧困や病気で苦しむ人々など社会的弱者のために、自分に何ができるのかを探究する。
		6 あなたはみんなが幸せに生きるために何ができるか？ ②		
冬季講座 2021年 1月上旬	環境	7 あなたが身の回りの環境を今のままにするとどうなるのか？ ①	「あなたは地球のために何ができるか？」と問われても、にわかに答えられないかもしれない。では、あなたは身近な環境を害する加害者になってはいないだろうか？自分が日々出しているごみ・汚水・フードロス・騒音などは、環境にどのような悪影響を与えているのか？ここを出発点に、最も身近なところからミニマムな環境問題を探究する。	
		8 あなたが身の回りの環境を今のままにするとどうなるのか？ ②		
	仕事	9 あなたは将来どのような仕事を選択するのか？ ①		あなたは社会に出たら働くのか、働かないのか？働くとしたらどのような職業を選ぶのか？まずは自分自身を見つめ直すことから出発し、自分が本当に好きなことは何なのかを掘り下げる。そして、その延長線上に将来やってみたい職業があるのか否かを調べ、それを実現するための具体的な方策などについても探究する。
		10 あなたは将来どのような仕事を選択するのか？ ②		
春季講座 2021年 3月下旬	地域	11 あなたはどんな町であれば住みたいか？ ①	あなたは今、暮らしている町は好きだろうか？そしてあなたは、高校を卒業してもその町に住み続けたいと思うだろうか？ 自分が理想とする町・自分と地域との関係・地域を支える人々・地域の歴史・文化・衣食住・産業などを調べることを通して、改めて自分を育ててくれた地域を見つめ直す探究へ。	
		12 あなたはどんな町であれば住みたいか？ ②		